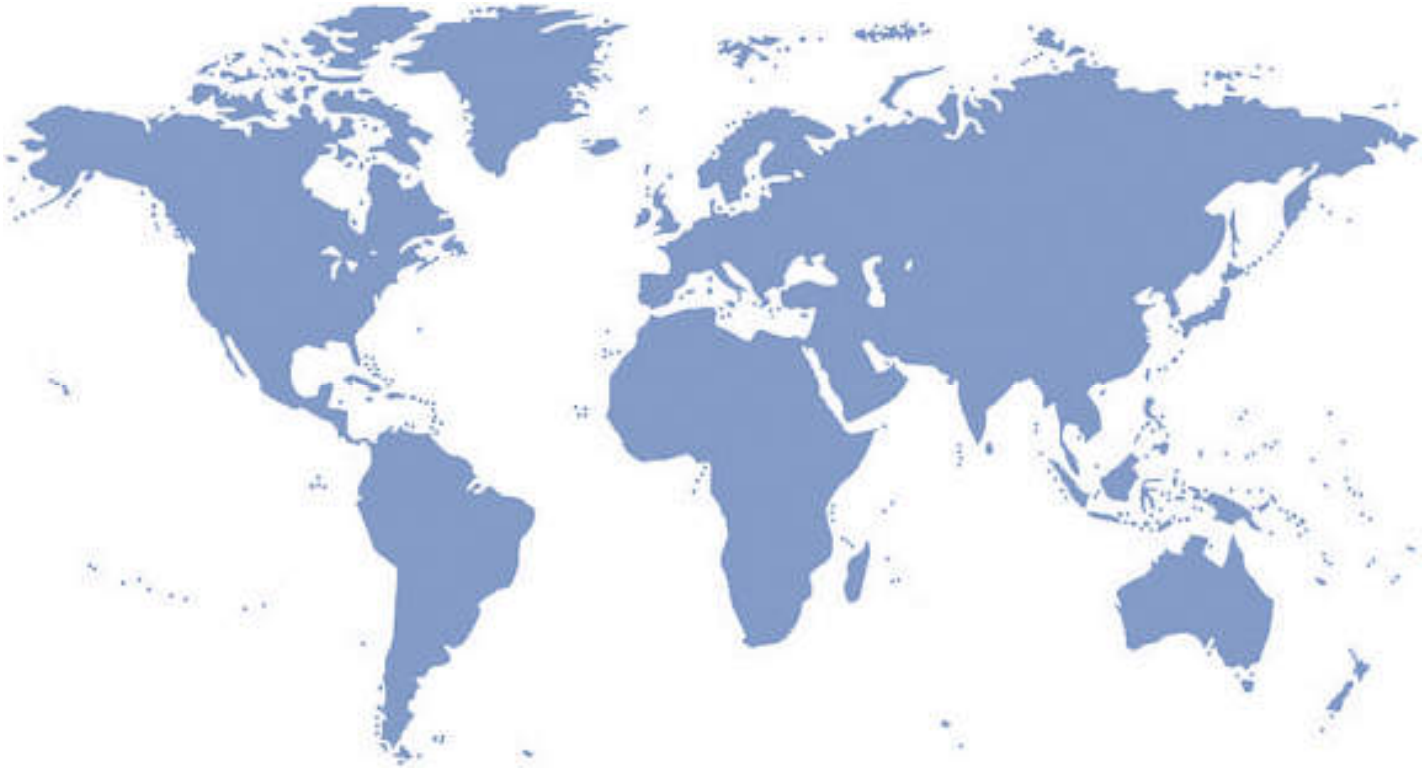
海運実務研修講座のご案内

2026年度予定および2025年度実績

（ 東京開催講座 ）



2026年8月

一般社団法人 日本海運集会所
海事知見事業グループ（セミナー）

注　・セミナー会場は、特別な記載がない限り、日本海運集会所の会議室です。

・各講座の定員は46名です。

・講師、内容等は変更になる場合があります。

・各講座の1コマあたりの講義時間は、原則として90分です。

・資料は当日配布します。事前の送付やデータでの提供はありません。

・会場での写真撮影、ビデオ撮影、録音は固くお断りします。

・講義中にノートパソコンでメモを取ることはお控えください。

記号について

★	入　門	→	新人	これからたずさわる方
★★	初・中級	→	実務経験1年～	少し業界用語がわかる方ももしくはわかってきた方
★★★	中　級	→	実務経験1～3年程度	ある程度の業界用語がわかる方

改　前回より講師、内容、講座名、回数等の変更あり

新　新規講座

海運実務研修講座 もくじ

NO	テーマ	レベル	2026年度開催予定日	ページ
1	タンカー航海傭船契約（全3回）	★★★	4月6日、13日、20日	5
2	〈T1日程〉 新人社員研修（春）（連続2日間）	★	4月21日～22日	6
3	コンテナ船事業の基礎と世界経済(全1回)	★	4月24日	7
4	〈T2日程〉 新人社員研修（春）（連続2日間）	★	5月19日～20日	6
5	船の技術知識あれこれ（全1日）	★	5月28日	8
6	〈T3日程〉 新人社員研修（春）（連続2日間）	★	6月1日～2日	6
7	共同海損基礎(全3回)	★★	6月10日、17日、24日	9
8	海上物品運送契約（外航）入門（連続2日間）	★★	6月11日～12日	10
9	英文契約書の読み方(1)(全1日)	★	6月16日	11
10	船舶金融詳説（連続2日間）	★★★	6月25日～26日	12
11	港湾・物流基礎(全1日)	★	7月2日	13
12	入門 会計と海運業（全3回）	★	7月8日、15日、22日	14
13	船舶所有者に関する法人税制（全1日）	★★★	7月16日	15
14	船舶保険 入門（全3回）	★★	7月29日、8月5日、12日	16
15	船舶管理実務(1日)	★★	9月10日	17
16	船の技術知識あれこれ（全1日）	★	9月14日	8
17	船荷証券の基礎（全3回）	★★	9月15日、29日、10月6日 ※9月22日は休講	18
18	初心者向け：タンカー基礎講義（全1回）（仮）	★	9月28日	19
19	定期傭船契約(全4回)	★★	10月8日、15日、22日、29日	20
20	ケミカル／プロダクトタンカーの運航／荷役の実務 (基礎編)(1日)	★★	10月9日	21
21	英文契約書の読み方(2)(全1日)	★★	10月14日	22
22	〈T4日程〉 新人社員研修講座（秋）（連続2日間）	★	10月19日～20日	23
23	海技の知識（全3回）	★★	10月23日、30日、11月6日	24
24	船荷証券の実務上の問題点(中級)（全3回）	★★★	11月5日、12日、19日	25
25	〈A日程〉 不定期船実務の基礎知識(陸上編)(全2日)	★★	11月13日、20日	26
26	P&I保険の基礎（全4回）	★★	12月2日、9日、16日、23日	27
27	〈B日程〉 不定期船実務の基礎知識(陸上編)(全2日)	★★	12月11日、18日	26
28	船の技術知識あれこれ（全1日）	★	12月頃	8
29	内航海運概論（全1日）	★	1月頃	28
30	洋上風力関連船に関する特殊傭船契約の基礎(全3回)	★★★	1月頃	29
31	内航傭船契約（全1日）	★★	2月頃	30
32	船舶保険実務（中級）（全1日）	★★★	2月頃	31
33	船舶売買の実務(全3回)	★★	3月頃	32
34	Laytimeの基礎知識(ドライバルク)(全1日)	★★★	3月頃	33

海運実務研修講座 1 「タンカー航海傭船契約(全3回)」 ASBATANKVOYの解釈と実務を学び応用力をつける ★★★	
今年度 開催日	4月6日、13日、20日(毎週月曜日) 15:00～17:00(120分／回) 受講料改定:JSE会員:26,400円(税込) JSE非会員:52,800円(税込) ※資料代含む。

昨年度実施状況

日 時	2025年4月10日、17日、24日(毎週木曜日) 15:00～17:00(120分／回)
受講料	JSE会員:22,000円(税込) JSE非会員:44,000円(税込) ※資料代含む。
レベル	中級
対 象	実務経験1～3年程度、基本的な用語が分かっていることが望ましい。
講 師	早稲田大学 海法研究所 招聘研究員 榎本 啓一郎 氏
略 歴	1971年成城大学経済学部卒業。同年、三井物産に入社、有機化学品部門にてリキッド・バルク・ケミカルの国際商取引を担当。海外勤務地:台北、ブリュッセル、バンコック。 2002年から2014年3月まで福岡大学商学部教授として国際貿易、ビジネスコミュニケーション(英語)とその関連教科を担当;航海傭船契約の研究に従事。 現在、早稲田大学海法研究所招聘研究員。 国際商取引学会、日本貿易学会、日本海法学会、異文化経営学会の会員。AFS米国留学12期生。 2012年 山縣記念財団「山縣勝見賞」「論文賞」受賞
概 要	本講座は、タンカーの運航や営業に携わっている実務担当者並びにタンカーを利用する傭船者を対象に、リキッド・バルクカーゴ(石油、石油製品、ケミカル、植物油等)の航海傭船契約に広く利用されているASBATANKVOY定型書式 の条項を講師の体験や判例を交えながら、実践的な解説をするものです。 個別条件の記載要件とその意義をはじめ、その運用規定としての一般条件(定型約款)の解釈を、船主と傭船者の利害が相反するリスクと費用負担の観点から分かり易く具体的に明らかにして行きます。 さらにASBATANKVOYの主要な条件をSHELLVOY 6, ExxonMobil VOY 2012, BPVOY 5の条件と比較します。これを通してASBATANKVOYの特徴が明らかにされるだけでなく、タンカー航海傭船契約に共通する基本原則の解釈と実務上の留意点が浮き彫りにされるので、理解が一層深まり、応用力が培われます。
内 容	・航海傭船契約における責任の分担 ・ASBATANKVOYの構成と個別条件 ・船主の義務 ・傭船者の義務 ・遅延と損害賠償金 ・指定港とバースへのアクセス ・碇泊期間とその始動要件 ・荷役準備完了通知 ・荷役と碇泊期間 ・積荷・船舶の保全

海運実務研修講座 2、4、6 「新人社員研修(春)(連続2日間)」

改 ★

船で世界の荷物を運ぶ 海運の基礎を学ぶ

今年度開催日	<T1日程>4月21日(火)～22日(水)、<T2日程>5月19日(火)～20日(水)、 <T3日程>6月 1日(月)～ 2日(火) 各日程 13:30～17:00(途中休憩有) 受講料改定:JSE会員:33,000円(税込) JSE非会員:66,000円(税込) ※資料代含む。 2日目講師:損害保険ジャパン 海上航空保険業務部 船舶グループ 課長代理 福原 幹人 氏

昨年度実施状況

2026年度
一部講師交代

日 時	<T1日程>2025年4月22日(火)～23日(水)、<T2日程>2025年5月20日(火)～21日(水)、 <T3日程>2025年6月2日(月)～3日(火) 各日程 13:30～17:00(途中休憩有)	
受講料	JSE会員:27,500円(税込) JSE非会員:55,000円(税込) ※資料代含む。	
レベル	入門	
対 象	新入社員および新人、通年採用(業界未経験者)	
概 要	業界を熟知する3名の実務家に講師を依頼し、二日間にわたり新人社員・中途入社の方々を対象に、下記のとおり海運実務研修講座(2)(4)(8)「新人社員研修(春)(連続2日間)」を開催いたします。また、今年は、4～6月にかけて3回開催いたします。 初日は、疑似航海のストーリーをもとに海運の歴史をふまえ、商船運航のしくみについて学びます。二日目は、前半により実務をする上で関連のある今日の海事産業の基本的な全体像を把握し、後半に海運という冒険につきものであるリスクとこれを担保するための保険の概略について学びます。 本講座は、海運業の経済上の役割の大きさやその仕事の特殊性を理解し、これから携わる業務の礎としていただくことを目的としています。	
内 容	**1日目**	13:30～17:00 (途中休憩有) 『商船の運航・基礎編』 ・海上貨物輸送の現状 (日本海運と便宜置籍船、船員リソース) ・船の諸元 (長さ、幅、深さ、喫水、トン数、速度、操縦性能) ・航海実務 (入出港、大洋航海、航海計画、荷役、航海計器、当直体制、パナマ運河、スエズ運河) ・船舶管理 ・安全運航管理 (海難事故、海賊対策、ISMコード) ・商船の環境対策 (燃費・CO2排出) ・その他、船の現状 (船内生活、通信、健康管理)
		講師 : UK P&I Club Senior Loss Prevention Director 元 日本郵船 常務経営委員、日本海洋科学 代表取締役社長 関根 博 氏
	2日目	13:30～15:00 『海運ビジネスの基礎』 1. 国際貿易と海運 ・輸送品目と海上荷動き動向 ・船の種類と船腹供給動向 ・海運 次世代への取組み 2. 海運ビジネスの仕組み ・海運と海事クラスター ・船主と傭船者 ・傭船契約と船荷証券 ・海運業の費用構造と採算 3. コンテナ船ビジネスについて ・コンテナ船の動向 ・世界貿易とコンテナ船輸送
		講師 : ㈱商船三井 コーポレートマーケティング部 BI・リサーチチーム シニアリード 若岡 邦昭 氏
		15:30～17:00 『船舶保険／P&I保険の概要』 ・海上保険の成り立ち ・海上保険の全体像 ・船舶保険の種類とその概要 ・P & I 保険の概要
		講師 : 損害保険ジャパン㈱ 海上航空保険業務部 船舶保険グループ 主査 上村 一郎 氏

海運実務研修講座 3 「コンテナ船事業の基礎と世界経済(全1回)」 改 ★ コンテナ輸送の基礎や歴史を学び、コンテナ船の将来を展望する	
今年度 開催日	4月24日(金曜日) 15:30～17:00 受講料改定:JSE会員:7,656円(税込) JSE非会員:14,256円(税込) ※資料・テキスト代含む。

昨年度実施状況

日 時	2025年6月17日(火曜日) 15:30～17:00
場 所	日本海運集会所 会議室
受講料	JSE会員:5,500円(税込) JSE非会員:11,000円(税込) ※資料代含む。
レベル	入門
対 象	新入社員および新人、通年採用(業界未経験者)。 もしくは、海運・コンテナ輸送・物流に携わる方で、基本的な知識を習得したい方や自身の知識を整理・確認したい方。
講 師	神奈川大学 経済学部 現代ビジネス学科 教授 松田 琢磨 氏
略 歴	筑波大学第三学群社会工学類卒業、東京工業大学大学院理工学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(学術)(東京工業大学)。 日本海事センター主任研究員を経て、2020年より拓殖大学商学部教授。2025年より現職。 専門分野は海運経済学、物流。コンテナ輸送、市場と業界の動向、国内雑貨輸送に関して調査・研究を進めている。
著 書	著書 『コンテナから読む世界経済』(KADOKAWA) 共著 『新国際物流論 基礎からDXまで新国際物流論 基礎からDXまで』 (晃洋書房、平田 燕奈, 松田 琢磨, 渡部 大輔) 『日の丸コンテナ会社ONEはなぜ成功したのか？』(日経BP、幡野 武彦, 松田 琢磨)
概 要	コンテナ輸送は、多種多様な物資を安定的に効率よく運んでおり、私たちの生活に欠かせないものとなっています。また、コンテナ海運ビジネスはグローバルなネットワークを駆使し、人々の経済・消費活動はもとより、世界経済を循環させる大きな役割を担う重要な産業となっています。 本講座では、コンテナ船事業についての基礎的な理解をめざして説明を行います。コンテナ船ビジネスの特徴、不定期船との違い、歴史的背景、コンテナ輸送の観点から国際物流を俯瞰し、日本の立ち位置を確認したうえで、今後のコンテナ船事業と世界経済について考えてみたい方などにお勧めです。 加えて、コンテナ船事業をめぐる直近の事象についても説明を加えたいと思います。
内 容	・経済の血液としての「箱」を理解しよう ・直近のコンテナ輸送と市況 ・海運物流・コンテナ輸送はどう発展していったのか ・「海運の動向」から読み解くこれからのビジネス・経営

海運実務研修講座 5、16、28 「船の技術知識あれこれ(全1日)」 船のことがよく分かる！　知っていた方が得なメカニズム ★	
今年度 予定	5月28日（木曜日）、9月14日（水曜日）、12月頃 受講料改定：JSE会員：13,200円（税込）　JSE非会員：26,400円（税込）　※資料代含む。

昨年度実施状況

日　時	2025年5月27日（火曜日）、7月24日（木曜日）、9月17日(水曜日)　各日程13:30～17:15（途中休憩有）
受講料	JSE会員：11,000円（税込）　JSE非会員：22,000円（税込）　※資料代含む。
レベル	入門
対　象	新入社員および新人、通年採用（業界未経験者）。若手社員、自身の知識整理・再確認をしたい中堅の方。 物理や地学の知識があると理解が進みやすいかもしれません。
講　師	元 ㈱商船三井　常務執行役員　横田　健二　氏
略　歴	1977年東京大学工学部船舶工学科卒業。同年大阪商船三井船舶(現 商船三井)入社。工務部にて新造船設計、新造船監督、保船等の業務に従事。 1994年技術部設計チーム課長、1996年技術部LNG船プロジェクトチーム課長、1998年技術部副部長、2000年LNG船管理部副部長、2002年技術部副部長、2005年技術部長、2007年執行役員、2009年常務執行役員を経て、2012年MOLシップテック代表取締役社長、相談役を歴任。現在は業界団体などで講師を務める。
概　要	本講座では、船の基礎知識から主要目の説明、推進性能・燃費、さらに造船に関わる知識まで幅広く学習します。充実した資料を参照しながら様々な技術用語もできるだけ解説します。また、時事的な話題にも簡単に触れます。 海運・造船に関わって間もない若手社員や、知識をもう一度整理し理解を深めたい中堅の方々を対象とした、体系的に技術知識を得られる最適の講座です。
内　容	・造船海運でよく使われる単位 ・主要金属、液体、気体の比重と物性 ・船とは（船の定義、船の分類） ・船型（1.バルカー、2.タンカー・プロダクト船、3.コンテナ船、4.各船種の構造） ・主要目（1.主要寸法、2.トン数、3.船籍船級検査規則、4.主機関、5.主要補機） ・性能・燃費（1.推進性能、2.燃費） ・復原性能（GM） ・海上試運転 ・造船契約（造船契約と関係者） ・建造工程 ・船費 ・検査・修繕 ・塗装（防錆塗料、防汚塗料） ・係船設備 ・造船海運に関わる人

海運実務研修講座 7 「共同海損基礎(全3回)」

海上輸送リスクを利害関係者間で分担する仕組みを学ぶ ★★

今年度開催日	6月10日、17日、24日（毎週水曜日） 15:30～17:00 受講料改定：JSE会員：19,800円（税込） JSE非会員：39,600円（税込） ※資料代含む。

昨年度実施状況

日 時	2025年6月11日、18日、25日（毎週水曜日） 15:30～17:00	
受講料	JSE会員：16,500円（税込） JSE非会員：33,000円（税込） ※資料代含む	
レベル	初・中級	
対 象	実務経験1年目～。GAの基礎～理論～実務をじっくり学んでみたい方。	
講 師	チャールス・テイラー・ジャパン㈱ アソシエイト・ダイレクター 志村 良子 氏 英国海損精算人協会正会員	
概 要	共同海損（General Average=GA）の基礎に焦点をあて、GAとは何か、GAを理解するための基礎的なポイントを押さえたうえで、GAとYAR（York-Antwerp Rules）の関係等を分かりやすく解説します。また、いくつかの事故例を参考にGAの理解を深め、最後に全3回を総括した小テスト（10問程）で知識の確認ができます。 海運特有の制度ですが、事故対応の一つとして備えておきたい知識です。	
内 容	**1**	GAの基礎知識（1） ・GAとは何か？ ・GAとYARの関係 ・YAR 1994の主な内容 ・GAの成立要件
	2	GAの基礎知識（2） ・負担価額とGAの分担 ・GA事故の例 ・GA Declarationについて ・GA Securityについて
	3	GAの基礎知識（3） ・実際にGA事故が起こったら？各当事者（船主、傭船者、荷主等）の役割 ・YARの歴史 ・YAR 2016の改定点 ・小テスト

海運実務研修講座 ８ 「海上物品運送契約（外航）入門（連続2日間）」

業界必須の基礎知識を身につける！ ★★

今年度開催日	6月11日(木)～12日(金) 13:30～17:00（途中休憩有） 受講料改定：JSE会員：26,400円（税込） JSE非会員：52,800円（税込） ※資料代含む。

昨年度実施状況

日 時	2025年6月12日(木)～13日(金) 13:30～17:00（途中休憩有） 2025年12月18日(木)～19日(金) 13:30～17:00（途中休憩有）	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員：22,000円（税込） JSE非会員：44,000円（税込） ※資料代含む	
レベル	初・中級	
対 象	新入社員、通年採用（業界未経験者）。入社3年目ぐらいまでの方向け。 海事業界の運送契約に関わる知識を速習したい方。	
講 師	日本海運集会所 海事知見事業グループ長 青戸 照太郎	
概 要	貨物の海上輸送契約が結ばれた場合、当事者間の権利義務関係を規律するものは、その契約の各条項だけでなく、関連する法律や、判例で示された種々の原則にも及びますので、これらを体系的に理解しておくことが必要となります。 本講座では、これから海事関連業界で本格的に実務に携わる方々を対象に、こうした外航の海上物品運送契約に不可欠な法的知識の基礎を、NYPEやGENCONといったDry Bulkで一般に利用される標準書式を参照しつつ、イラストを用いたやさしい解説で、２日間集中して講義します。	
内 容	1日目	第一部 1.海上物品運送と輸出入（FOB、CIF、L/C決済） 2.海上物品運送の契約手段（B/L、C/P） 3.運送人による船舶の手当（BBC、T/C、V/C） 4.運送契約の成立と権利義務（含COGSA）
		第二部 1.Voyage Charter の全体像 2.Laycan と Arrived ship 3.荷役（Laytime、Demurrage、FIO等） 4.運送人の権利と義務（運賃、B/L等） 5.貨物の引渡し（LOI渡し等）
	2日目	第三部 1.Time Charter の全体像 2.本船の引渡し 3.Off-hire 4.傭船料の支払いと引揚権 5.傭船期間と返船及び最終航海の指示 6.その他（Employment、荷役責任、ICA、スピードクレーム）
		第四部 1.傭船契約と船荷証券の関係 2.船荷証券の当事者 3.各運送契約の相違と補償 4.ケース・スタディー

海運実務研修講座 ９ 「英文契約書の読み方(1)(全1日)」

英文契約書の構成や表現、法律英語の注意点を学び、理解を深める ★

今年度開催日	6月16日(火曜日) 13:30～17:00(途中休憩有) 受講料改定:JSE会員:13,200円(税込) JSE非会員:26,400円(税込) ※資料代含む。

昨年度実施状況

日 時	2025年5月28日(水曜日)、10月8日(水曜日) 各日程 13:30～17:00(途中休憩有)	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:11,000円(税込) JSE非会員:22,000円(税込) ※資料代含む。	
レベル	入門	
対 象	新人・中途入社および～実務経験3年目ぐらいまで 一般的な英文の契約書を読むコツを学びたい方。若手社員、自身の知識整理・再確認をしたい中堅の方など。	
講 師	高田 道子 氏	
略 歴	1991年早稲田大学 法学部卒業後、1996年まで(株)東芝 法務部国際提携業務を担当。 1998年からフリーランスの法律翻訳者になり、2001年よりバベルにて添削指導開始する。担当講座に「英日契約書翻訳講座(レベルII)」、「日英契約書翻訳講座(レベルI)」、「翻訳者の権利保護法」、「サマライズ講座(要約英日文法)契約書篇」がある。 某大手弁護士事務所でも法律文書翻訳研修講師として約10年携わっている。	
概 要	本講座では「英文契約書の構成」を説明し、契約書を読むにあたって必要な英文法律用語、助動詞及び数量・期間の表現を学習します。 英文契約書の構成を理解することで、自分が必要としている項目がどの箇所に定められているか、重要な条項はどれかがわかるようになります。 1時限目および2時限目は売買契約書を使いながら、契約書の構成と法律英語の注意点を解説し、稟議書等部内資料の作成に利用できる契約書の要約の仕方を説明します。 3時限目は、アメリカの法制度、裁判制度などについて解説をします。 ※本講座では、海運関係の契約書は取り扱いません。 船荷証券、定期傭船契約、航海傭船契約等の講座は、別途実施しています。(P.3目次参照)	
内 容	1	英文契約書の読み方 1 ・契約とは、 ・契約の必要性 ・国際間契約では英文契約が標準 ・英文契約書を読むために押さえておくべきポイント ・英文契約書特有のフレーズ(Legalese 他) ・助動詞 ・数量・期間の表現
	2	英文契約書の読み方 2 ・1時限目の続き ・英文契約書の構成(配布の「売買契約書」を使用して説明) ・前文 ・主要部分 ・一般条項 ・要約の仕方の説明
	3	アメリカの法制度・裁判制度について (英米法、連邦制、陪審員制度など)
テキスト	有	

海運実務研修講座 10 「船舶金融詳説（連続2日間）」 海事ビジネスを支える船舶金融の基礎解説と今後の展開 ★★★	
今年度 開催日	6月25日(木)～26日(金) 13:30～17:00（途中休憩有） 受講料改定：JSE会員：26,400円（税込） JSE非会員：52,800円（税込） ※資料代含む。

昨年度実施状況

日 時	2025年6月19日(木)～20日(金) 13:30～17:00（途中休憩有）
受講料	JSE会員：22,000円（税込） JSE非会員：44,000円（税込） ※資料代含む。
レベル	初・中級
対 象	実務経験1年目～。会計や簿記の知識があることが望ましい。金融や経済に興味がある方、財務・経理の担当者など。
講 師	早稲田大学大学院 法学研究科 非常勤講師／招聘研究員、センチパートナーズ㈱代表取締役 木原 知己 氏
略 歴	1984年九州大学法学部卒業後、日本長期信用銀行（現新生銀行）入行。主として船舶融資を担当し、営業第八部長、高松支店長を最後に同行退職。 2005年に都内金融機関に入行し、船舶金融チームを立ち上げる。 2011年、青山綜合会計事務所顧問に就任し、パートナー、海事スーパーバイザーを歴任。 現在は、船主向け経営コンサルティングの傍ら、ファイナンスアレンジなどに従事する他、早稲田大学大学院法学研究科非常勤講師(船舶金融法研究)、同大学海法研究所招聘研究員、センチパートナーズ代表取締役、海事振興連盟三号会員、海洋立国懇話会理事などを務める。
著 書	『船舶金融論―船舶に関する金融・経営・法の体系(3訂版)』(海文堂出版) 『シップファイナンス―船舶金融概説（増補改訂版）』(海事プレス社) 『船主経営の視座』(海事プレス社) 『波濤列伝―幕末・明治期の夢への航跡―』(海文堂出版) 『号丸譚―心震わす船のものがたり―』(海文堂出版) 『船舶金融法の諸相』(編著、成文堂) 『日本の海のレジェンドたち』(編著、海文堂出版) 『躍動する海―さまざまに織りなす「海」の物語』(海文堂出版)
概 要	船舶を建造・購入するときに必要な船舶金融の基礎（定義、体系、実務ほか）について、貸す側と借りる側双方の視点に立ち、船舶金融論・船主経営論のほか、海商法との接点を交え、より体系立てて解説します。 また、船舶を社会インフラと理解することで、社会や環境変化に伴う船舶金融の深化・進化についても考察します。
内 容	1. 船舶金融の定義 2. 船舶融資の類型 3. 船舶融資可否判断基準 4. Loan Agreement 5. モニタリング 6. 船舶融資（船舶金融）の進化

海運実務研修講座 11 「港湾・物流基礎(全1日)」 輸出入業務の流れを学び、国際物流を支えるプロになる ★	
今年度 開催日	7月2日(木曜日) 13:30～17:00(途中休憩有) 受講料改定:JSE会員:13,200円(税込) JSE非会員:26,400円(税込) ※資料代含む。

昨年度実施状況

日 時	2025年6月24日(火曜日) 13:30～17:00(途中休憩有)	
受講料	JSE会員:11,000円(税込) JSE非会員:22,000円(税込) ※資料代含む。	
レベル	入門	
対 象	新入社員および新人、通年採用(業界未経験者)。若手社員、自身の知識整理・再確認をしたい方。	
講 師	春山 利廣 氏 元㈱商船三井、元㈱ジャパンエキスプレス 専務取締役・顧問	
略 歴	1973年早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。商船三井入社。1984～1989年米国ロスアンゼルスに駐在。輸入貨物のロジスティクス構築に従事。1997～2000年タイ国バンコックに駐在。保税倉庫を運営。 2001年タイ国Assumption大学MBAコース修了。経営学修士。2001～2003年米国ミシガン州駐在。保税倉庫を運営。2003年ジャパンエキスプレスに移籍。取締役兼倉庫部長、2012年常務取締役、専務取締役を経て顧問。2013年退社後、コンサルタント業開設。東海大学や流通経済大学で講師を務めていた。 現在は、パーソルテンプスタッフ、大原学園他にて貿易、通関の講座を担当。	
著 書	『ココで差がつく!貿易・輸送・通関実務』成山堂書店 https://www.seizando.co.jp/book/4440/ 『港湾倉庫マネジメント―戦略的思考と黒字化のポイント』成山堂書店 https://www.seizando.co.jp/book/4295/	
概 要	本講座は、前半の「輸出」では、貨物が工場や倉庫から出荷されて船積されるまでを扱い、国内における貨物の移動工程を俯瞰します。 後半の「輸入」では、貨物が港に到着してから個々のエンドユーザーに渡るまでの個別対応について学習します。 「輸出」と「輸入」における海上輸送部分の前後の移動工程を把握し、各工程の業務と専門性を理解することで、国際物流の一端を担えるようになることを目的としています。	
内 容	1	輸出 ・輸出貨物が工場や倉庫で完成してから船積まで、日本国内の移動工程を俯瞰する。 ・移動工程は、トラック輸送、通関、倉庫、港湾運送など当該分野のプロが連続して担当する。それぞれのプロの資格要件と業務の概要を取り上げる。
	2	輸入 ・輸入貨物が港に到着してからエンドユーザーに渡されるまでの移動工程を俯瞰する。 ・通関や港湾倉庫、国内輸送など各分野のプロがこの工程に参加する。 ・輸出と異なりエンドユーザーの要望は多様であり、プロの個別対応を取り上げる。

海運実務研修講座 12 「入門 会計と海運業(全3回)」

改 ★

初めて学ぶ、海運特有の会計の基礎

今年度予定	7月8日、15日、22日(毎週水曜日) 15:30～17:00 受講料改定:JSE会員:19,800円(税込) JSE非会員:39,600円(税込) ※資料代含む。 講師:EY新日本有限責任監査法人 見尾氏、根本氏、増田氏

昨年度実施状況

2026年度
一部講師交代

日 時	2025年7月8日、15日、22日(毎週火曜日) 15:30～17:00	
受講料	JSE会員:16,500円(税込) JSE非会員:33,000円(税込) ※資料代含む。	
レベル	入門	
対 象	海運業における会計の基礎を身につけたい方。新人、1～2年目ぐらい向け。簿記が多少でもわかると理解が進みます。※経理部門の方には易しい内容です。	
講 師	1	公認会計士 見尾 昌彦 氏
	略歴	EY新日本有限責任監査法人 シニア 2017年公認会計士試験(論文式試験)合格後、新日本有限責任監査法人(現EY新日本有限責任監査法人)に入所し現在に至る。 海運業クライアントをメインとし、自動車部品製造業、不動産業等の監査業務に携わる。
	2	公認会計士 根本 裕香 氏
	略歴	EY新日本有限責任監査法人 シニア 2017年公認会計士試験(論文式試験)合格後、新日本有限責任監査法人(現EY新日本有限責任監査法人)に入所し現在に至る。 海運業クライアントをメインとし、建設業、不動産業等の監査業務に携わる。
	3	公認会計士 山中 武 氏
	略歴	EY新日本有限責任監査法人 マネージャー 2007年公認会計士試験(論文式試験)合格後、新日本有限責任監査法人(現EY新日本有限責任監査法人)に入所し現在に至る。 海運業クライアントをメインとし、自動車部品製造業、建設業等の監査業務に携わる。
参考書籍	EY新日本有限責任監査法人 編 『業種別会計シリーズ 海運業』(第一法規)3,740円(本体:3,400円) https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104351.html	
概 要	本講座では、一般的な会計の基本原則をおさらいしたうえで、海運特有の実務がどう会計処理されるかにつき図表等を用いてわかりやすく解説します。 海運業では船舶管理業の発展、経理のシステム化等により、あるいは船舶金融の多様化等により海運会計の知識を必要とする分野や業務は拡大しています。 海運や関連企業、金融機関でこれから海運会計に直接携わるフレッシュマン、あるいは海運会計に関心のある方を対象に、入門編として基礎となる知識をお伝えします。	
内 容	1	会計と海運業ビジネスの基礎的理解 会計における海運業の特徴
	2	船舶にかかる論点 仕組船会社、償却、修繕、貯蔵燃料、船舶の評価・減損
	3	海運業の損益項目 海運業収益 代理店との取引(運航費・港費) 借船料
	※講座内容・順序等は変更になる場合がございます。	

海運実務研修講座 13 「船舶所有者に関する法人税制（全1日）」

船主業務における海運特有の法人税制を学ぶ ★★★

今年度予定	7月16日（木曜日） 13:30～17:00（途中休憩有） 受講料改定：JSE会員：13,200円（税込） JSE非会員：26,400円（税込） ※資料代含む。

昨年度実施状況

2026年度
講座名変更

日 時	2025年7月11日（金曜日） 13:30～17:00（途中休憩有）
受講料	JSE会員：11,000円（税込） JSE非会員：22,000円（税込） ※資料代含む。
レベル	初・中級
対 象	実務経験1年目～。海運業の会計基礎知識があることが望ましい。海運特有の税制について学習したい方。
講 師	GPP税理士法人 公認会計士・税理士 中島 毅 氏
略 歴	早稲田大学商学部卒業。 1992年監査法人トーマツに入所後、監査業務、株式公開支援業務に従事、その後税理士法人トーマツにて国内税務全般に従事した後、2014年より現職。 船主を始めとする顧客に対する税務アドバイザリー業務、税務申告業務に従事する。 2017年早稲田大学法学研究科修士課程「国際海事問題の実務と法」にて修士課程修了。
概 要	船主経営では、海運事業特有の契約形態や取引関係が存在し、それに伴う特有の税務上の論点や海外置籍に伴う税務関係の知識が必要になります。 本講座では、定期傭船契約や裸傭船契約に関係する税務、海運業に関わる法人税制のポイントや企業経営上の留意点等について解説いたします。
内 容	船舶所有者に関する法人税制（外航ばら積み船を中心に） ・傭船契約に関する税制（傭船者サイドより） ・傭船契約に関する税制（船主サイドより） ・船舶所有者に特有の税制（特別償却、圧縮記帳、トン数標準税制ほか） ・海外子会社に対する税制（タックスヘイブン対策税制） ※傭船契約は、定期傭船契約と裸傭船契約を対象とします。 なお、改正後リース会計基準との相違点についても触れる予定です。 ※トン数標準税制については概略の解説となります。

海運実務研修講座 14 「船舶保険 入門(全3回)」 船舶損害のリスクを補填する保険の基礎知識 ★★	
今年度 予定	7月29日、8月5日、12日（毎週水曜日） 15:30～17:00 受講料改定：JSE会員：19,800円（税込） JSE非会員：39,600円（税込） ※資料代含む。

昨年度実施状況

日 時	2025年7月9日、16日、23日（毎週水曜日） 15:30～17:00	
受講料	JSE会員：16,500円（税込） JSE非会員：33,000円（税込） ※資料代含む	
レベル	初・中級	
対 象	実務経験1年目～。4～6月に実施した「新人社員研修」で船舶保険に興味を持った方。より具体的に学習してみたい方。	
講 師	東京海上日動火災保険㈱ コマーシャル損害部 船舶第一グループ 課長代理 野間口 大 氏	
略 歴	2011年入社。2011年～2013年まで海外工事保険、火災保険の保険金支払業務に従事。2014年は貨物保険の保険金支払業務に従事した後、2015年～2017年はシンガポールで貨物保険の事故防止活動、保険金支払業務に従事。2018年～2023年は大阪で船舶保険の保険金支払業務を中心に、貨物保険、航空保険の保険金支払業務にも従事。2024年より現職となり、船舶保険（船体保険、P&I保険、傭船者賠償責任保険）、洋上風力発電保険の保険金支払業務に従事。	
概 要	本講座では、船舶保険の基礎を学ぼうとする方々を対象に、各種船舶保険の内容、保険金支払いの対象となる事故および損害、事故発生時の対応・注意点等、船舶保険について、時宜的な事柄を交えたりしながら、押さえておくべきポイントを講義いたします。	
内 容	1	船舶保険の基礎知識 （P&I保険を含めた船舶保険の商品説明を中心として）
	2	海難発生時の対応(1) 修繕・衝突 （保険てん補の範囲を含めて）
	3	海難発生時の対応(2) 全損・救助・共同海損 （保険てん補の範囲を含めて）

海運実務研修講座 15 「船舶管理実務(1日)」 リスクを抑える船舶管理業務を体系的に学ぶ ★★	
今年度 予定	9月10日(木曜日)　9:30～17:30(昼休み 12:00～13:00、途中休憩有) 受講料改定:JSE会員:26,400円(税込)　JSE非会員:52,800円(税込)　※資料代含む。

昨年度実施状況

日　時	2025年9月2日(火曜日)　9:30～17:30(昼休み 12:00～13:00、途中休憩有)
受講料	JSE会員:22,000円(税込)　非会員:44,000円(税込)　※資料代含む。
レベル	初・中級
対　象	実務経験1年目～。船舶におけるリスクマネジメントについて体系的に学んでみたい方。知識を確認したい方。
講　師	ベルンハルトシュルテシップマネジメントジャパン㈱　ゼネラルマネージャー　杉本　和重　氏
略　歴	1988年ワールドマリン株式会社入社。航海士及び船長として海上勤務の後、海務監督として船舶管理業務に従事。 同社船舶管理グループ長、取締役専務執行役員を歴任。2024年から現職。海事代理士。
概　要	船舶管理は、関連規則・条約の規定に基づき、本船の堪航性を確保し、さらに本船の資産価値を維持・向上する船主業務の大きな柱です。 その実務は船舶の安全運航・保守管理・コスト管理・船員の教育訓練、環境影響への配慮、事故防止・対応などのリスクマネジメントと多岐にわたっています。 本講座では、船舶管理業務を熟知した講師に、基本的な事柄を確認しつつ、コロナ後の船員配乗や環境対応といった最近の話題、重大事故等、具体例や経験談などを交えて体系的に解説していただきます。
内　容	1.船舶管理とリスクマネジメント 船舶管理契約 / 船舶管理費用 / 全体最適化とDX 2.乗組員管理業務 乗組員配乗管理・教育 / MLC2006 / ウェルビーイング 3.工務関連業務 保船・入渠作業実務 / 関連条約・規則と検査 / 環境関連 4.海務関連業務 傭船契約・運航管理 / 海難事故対応 / 船舶保険の概要 5.安全と船舶管理品質 ISM Code / RightShip / DBMS / 安全管理実務

海運実務研修講座 17 「船荷証券の基礎(全3回)」 改

船荷証券の基本を学ぶ ★★

今年度予定	9月15日、29日、10月6日（毎週火曜日）※9月22日は休講。 15:30～17:00 受講料改定：JSE会員：19,800円（税込） JSE非会員：39,600円（税込） ※資料代含む。 講師：(弁)岡部・山口法律事務所 弁護士 津田 勝也 氏

昨年度実施状況

2026年度
講師交代

日 時	2025年4月25日（金曜日） 13:00～17:30 ※時間が変則的になっています。
受講料	JSE会員：16,500円（税込） JSE非会員：33,000円（税込） ※資料代含む。
レベル	初・中級
対 象	実務経験1～3年程度、基本的な用語に触れていることが望ましい。
講 師	東町法律事務所 弁護士・英国（イングランド及びウェールズ）弁護士 山下 和哉 氏
概 要	船荷証券は、国際貿易の基本書類のひとつであり、過去の歴史や実務上の重要性を踏まえて制度が整備されています。 船荷証券に関する知識は、国際海上物品運送や国際動産売買の分野では特に大切であり、また、2018年には商法及び国際海上物品運送法が改正されましたので、機会を見つけて研修を重ねることは非常に有益です。 本講座では、実務上重要な運送人の責任体系にも言及しつつ、船荷証券の基礎的な内容を平易に説明し、基本的かつアップデートされた知識の習得を目指します。
内 容	1. B/Lとは 2. B/Lに関する国際条約と国内法令 3. B/Lの法的性質 4. B/Lの種類 5. B/L類似の書類等（電子B/Lを含む） 6. 国際海上物品運送法の概要 7. 運送人の義務・責任 8. 荷送人の義務・責任 9. B/L紛失対応 （途中休憩あり）

海運実務研修講座 18 「入門編：タンカー基礎講義（全1回）」 ～Cargoから読み解く、タンカーの構造・設備・運用～ Cargo→Risk→Rule→Design & Equipment→Operation	新 ★
今年度予定	9月28日（月曜日） 15:30～17:00（予定）

2026年度新規セミナー

受講料	JSE会員：6,600円（税込） JSE非会員：13,200円（税込） ※資料代含む。
レベル	入門
対 象	新人向け、実務経験1年目～
講 師	NYK Energy Ocean㈱ 執行役員・船舶管理部管掌 船長 杉山 治 氏 NYK Energy Ocean㈱ 船舶管理部長 船長 中森 浩之 氏
概 要	未定
内 容	1. Cargo 2. Risk 3. Rule 4. Design & Equipmen 5. Operation

海運実務研修講座 19 「定期傭船契約(全4回)」 定期傭船契約の基礎を学び現場で生かす ★★	
今年度予定	10月8日、15日、22日、29日（毎週木曜日） 15:30～17:00

昨年度実施状況

日　時	2025年11月26日、12月3日、10日、17日（毎週水曜日） 15:30～17:00
受講料	JSE会員：26,400円（税込） JSE非会員：52,800円（税込） ※資料代含む。
レベル	初・中級
対　象	実務経験1年目～。基本的な用語が分かっていることが望ましい。
講　師	左合・赤塚法律事務所　弁護士　赤塚　寛　氏
概　要	本講座は、代表的な定期傭船書式であるNYPEの（傭船者の指示、傭船料、堪航性、配船等）の解説を通じて定期傭船契約の基本構造の理解を深めることをねらいとしています。 定期傭船契約の本質的な理解と知識の整理ができるよう、ポイントを押えて解説いたします。
内　容	主にNYPEを題材とし、定期傭船契約一般について概観します。 1.定期傭船契約の概要、サービスと航海指示（安全港担保義務） 2.傭船期間、傭船料（Withdraw等） 3.Off Hire、Lien 4.堪航性担保義務、メンテナンス義務、USCOGSA、その他

海運実務研修講座 20 「ケミカル／プロダクトタンカーの運航／荷役の実務(基礎編)(1日)」 今更聞けない？でも今なら聞けるケミカルタンカーの運航基礎実務 ★★	
今年度予定	10月9日（金曜日） 10:30～17:00（昼休み：12:00～13:00、途中休憩有）

昨年度実施状況

日　時	2025年10月10日（金曜日） 10:30～17:00（昼休み：12:00～13:00、途中休憩有）	
受講料	JSE会員：19,800円（税込） JSE非会員：39,600円（税込） ※資料代含む。	
レベル	初・中級	
対　象	船舶運航会社の若手社員・新人および商社／メーカーで船舶の運航に関わりのある方	
講　師	㈱TCMS 代表取締役　片桐　博樹　氏	
略　歴	東京マリン(現 MOLCT)で荷役監督に従事、荷役管理システムの立ち上げに携わり、専門部署のチームリーダーを務める。乗船経験(VLCC)も合わせてコンサルティングを行う。	
概　要	本講座は、船会社の若手・新人、荷主（商社・メーカー）の担当者を対象に、とりわけ取り扱いに注意を必要とする危険化学薬品を運送するケミカルタンカーやプロダクトタンカーにおける運航と荷役の基礎知識を学習します。 一連の業務の流れを学び、タンククリーニングのポイントや海事法規等にも触れます。また、ワークショップを通じて実践力を身につけます。 多品種にわたる危険品の積載・運送において、特に複雑で難しいといわれるオペレーションをより正確に理解したい方にお勧めです。	
内　容	1	ケミカル／プロダクトタンカーの基礎知識 1.ケミカル／プロダクトタンカーの構造について 2.ケミカル／プロダクトタンカーの運航について(入港から着桟、荷役から出航までの流れ) 3.Stowage Plan の作成について(1)
	2	ケミカル／プロダクトタンカーの荷役の基礎知識 1.Stowage Plan について(2) 2.タンククリーニングについて(例 BTX/Palm Oil/Tallow等)の説明 3.クリーニングミスによる事故例/原因検証など
	3	ケミカル／プロダクトタンカーの法令の基礎知識 1.運航上の法令について（MARPOL、IBC Code etc.,） 2.その他要件 (FOSFA、NIOP etc.,) 3.建造時の様子

海運実務研修講座 21 「英文契約書の読み方(2)(全1日)」 新

ソフトウェアライセンス契約を用いた実践読解 ★★

今年度予定	10月14日（水曜日） 13:30～15:45（途中休憩有）

2026年度新規セミナー

場　所	日本海運集会所　会議室	
受講料	JSE会員：8,800円（税込）　JSE非会員：17,600円（税込）　※資料代含む。	
レベル	初・中級	
対　象	実務経験1年目～。一般的な英文の契約書を読むコツを学びたい方。（若手社員、自身の知識整理・再確認をしたい中堅の方など。）2025年度までの「英文契約書の読み方」もしくは今年度の「英文契約書の読み方(1)」を受講済みであることが望ましいですが、必須ではありません。	
講　師	高田　道子　氏	
略　歴	1991年早稲田大学 法学部卒業後、1996年まで(株)東芝 法務部国際提携業務を担当。 1998年からフリーランスの法律翻訳者になり、2001年よりバベルにて添削指導開始する。担当講座に「英日契約書翻訳講座（レベルII）」、「日英契約書翻訳講座（レベルI）、「翻訳者の権利保護法」、「サマライズ講座（要約英日文法）契約書篇」がある。 某大手弁護士事務所でも法律文書翻訳研修講師として約10年携わっている。	
概　要	本講座では、「英文契約書の読み方(1)」で学んだ基礎（契約書の構成・基本表現）を踏まえ、より実践的な題材として「ソフトウェアライセンス契約書」を取り上げます。 講義中、演習として、実際にソフトウェアライセンス契約書の一部の簡単な要約を作成していただきます。その上で、契約書の内容や、契約書でよく使われるフレーズを説明していきます。 これにより、英文契約書の構造を改めて確認しながら各条文の理解を深めるとともに、契約書でよく用いられる表現や権利・義務表現の違いを意識した読み取り方を学びます。	
注記	・本講座は、昨年度までの「英文契約書の読み方」（入門）の受講者からのご要望を踏まえ、初・中級レベルとして新たに開催するものです。（「英文契約書の構成」など、「英文契約書の読み方（1）」の内容の簡単な説明もしますので、(1)を受講していない方でも大丈夫です。） 基礎から一歩進んだ内容を学びたい方におすすめです。 ・海運実務研修講座(9)「英文契約書の読み方(1)」は、6/16に開催済みです。（P.11参照） ・本講座では、海運関係の契約書は取り扱いません。 船荷証券、定期傭船契約、航海傭船契約等は、別途講座をご用意しています。（P.3目次参照）	
内　容	1	事前説明 契約書の構成の説明 読まなければならない箇所の特定 権利と義務の表現の説明 ・権利表現：may / has the right to ・義務表現：shall / is obligated to ・禁止表現：shall not よく使う動詞
	2	実際に契約書を読む
	3	解説 条文ごとの内容解説 長い関係代名詞の訳し方 通知条項についての説明 契約書でよく使われるフレーズの解説 ・notwithstanding / unless otherwise ・in accordance with / as set forth in / as stipulated in ・provided, however, that（但し書き） ・which will not be unreasonably withheld ・hereto / thereof ・immediately / promptly、など
テキスト	有	

海運実務研修講座 22 「新人社員研修(秋)(連続2日間)」

改 ★

船で世界の荷物を運ぶ 海運の基礎を学ぶ

今年度予定	<T4日程> 10月19日(月)～20日(火) 13:30～17:00(途中休憩有) 2日目講師:損害保険ジャパン 海上航空保険業務部 船舶グループ 課長代理 福原 幹人 氏

昨年度実施状況

2026年度
一部講師交代

日 時	<T4日程> 2025年10月21日(火)～22日(水) 13:30～17:00(途中休憩有) <T5日程> 2025年11月17日(月)～18日(火) 13:30～17:00(途中休憩有)	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:33,000円(税込) JSE非会員:66,000円(税込) ※資料代含む。	
レベル	入門	
対 象	新入社員および新人、通年採用(業界未経験者)	
概 要	業界を熟知する3名の実務家に講師を依頼し、2日間にわたり新人社員・中途入社の方々を対象に、下記のとおり海運実務研修講座「新人社員研修(秋)(連続2日間)」を開催いたします。 初日は、疑似航海のストーリーや海運の歴史を絡めながら、商船運航のしくみを学びます。2日目は、今日の海事産業の全体像を把握し、海運につきものであるリスクとこれを担保するための保険について学びます。 本講座は、海運業の経済上の役割の大きさやその仕事の特殊性を理解し、これから携わる業務の礎としていただくことを目的としています。	
内 容	初日	13:30～17:00 (途中休憩有) 『商船の運航・基礎編』 ・海上貨物輸送の現状 (日本海運と便宜置籍船、船員リソース) ・船の諸元 (長さ、幅、深さ、喫水、トン数、速度、操縦性能) ・航海実務 (入出港、大洋航海、航海計画、荷役、航海計器、当直体制、パナマ運河、スエズ運河) ・船舶管理 ・安全運航管理 (海難事故、海賊対策、ISMコード) ・商船の環境対策 (燃費・CO2排出) ・その他、船の現状 (船内生活、通信、健康管理)
		講師 : UK P&I Club Senior Loss Prevention Director 元 日本郵船 常務経営委員、日本海洋科学 代表取締役社長 関根 博 氏
	2日目	13:30～15:00 『海運ビジネスの基礎』 1. 国際貿易と海運 ・輸送品目と海上荷動き動向 ・船の種類と船腹供給動向 ・海運 次世代への取組み 2. 海運ビジネスの仕組み ・海運と海事クラスター ・船主と傭船者 ・傭船契約と船荷証券 ・海運業の費用構造と採算 3. コンテナ船ビジネスについて ・コンテナ船の動向 ・世界貿易とコンテナ船輸送
		講師 : ㈱商船三井 コーポレートマーケティング部 BI・リサーチチーム シニアリード 若岡 邦昭 氏
		15:30～17:00 『船舶保険／P&I保険の概要』 ・海上保険の成り立ち ・海上保険の全体像 ・船舶保険の種類とその概要 ・P&I保険の概要
		講師 : 損害保険ジャパン㈱ 海上航空保険業務部 船舶グループ 主査 上村 一郎 氏

海運実務研修講座 23 「海技の知識(全3回)」

改

船長さんに聞く、船舶オペレーション業務における運航のポイント

★★

今年度予定	10月23日、30日、11月6日（毎週金曜日） 15:30～17:00 講師：日本船長協会　小尾　達也　氏、藤田 伸吾　氏

昨年度実施状況

2026年度
講師交代

日　時	2025年11月5日、12日、18日（毎週水曜日） 15:30～17:00	
受講料	JSE会員：19,800円（税込） JSE非会員：39,600円（税込） ※資料代含む。	
レベル	初・中級	
対　象	オペレーター、実務経験1～3年向き。または海上職で陸上勤務が長い方	
講　師	1, 2	(一社)日本船長協会　常務理事　船長　滝浦　文隆　氏
	3	(一社)日本船長協会　常務理事　船長　朝藤　健　氏
概　要	船舶の運航・操船するうえで知っておきたい船種ごとの貨物取扱上の注意点や貨物事故例、気象・海象と輸送中のカーゴへの影響とダメージ防止対策、大型化など船舶の規模・技術の向上に伴う操船の変化といった海上輸送における基礎的な知識を体系的に分かりやすく解説いたします。 講師には、海上経験豊富な船長さんを迎え、日本船長協会で制作しているプレゼン資料や映像を用い、最近のトピックも交えながらお話しします。 なお、本講座は、船のオペレーション担当初級者を対象としていますが、海技資格保持者でも長期に陸上勤務されている方、各船長さんの貴重な経験談を聞いてみたいという方にもお勧めです。	
内　容	1	初級オペレーターのための気象・海象の基礎知識 1.知っておくべき基本的な気象知識 2.ウェザールーティングの航路選定について 3.荒天域の避航・避泊について　ほか
	2	初級・中級のオペレーターのための巨大船及び特殊船型船の操船の知識 1.巨大船と特殊船型船の定義 2.巨大船の惰力と特殊船型船の風圧抵抗 3.制限水域での操船 4.港内操船（タグボートの利用） 5.錨泊、係留 6.荒天航海（破損、転覆を避けるための操船）
	3	初級オペレーターのための船舶輸送中に貨物が受ける影響とその対応 ※海上輸送中の貨物に対する船上におけるダメージ対策を解説 1.貨物に影響を及ぼす要素（外力・熱・湿気） 2.貨物への影響を最小限に防ぐために 3.各専用船における貨物へのダメージ対策 4.実例の紹介　ほか
その他	※(一社)日本船長協会で発売している教育用ビデオをもとに構成しています。 https://www.captain.or.jp/?page_id=2910	

海運実務研修講座 25 「船荷証券の実務上の問題点(中級)(全3回)」 改

船荷証券の理解を深める ★★★

今年度予定	11月5日、12日、19日(毎週木曜日) 15:30～17:00 受講料改定:JSE会員:19,800円(税込) JSE非会員:39,600円(税込) ※資料代含む。 講師:(弁)岡部・山口法律事務所 弁護士 津田 勝也 氏

昨年度実施状況

2026年度
講師交代

日 時	2025年5月29日(木曜日) 13:00～17:30 ※時間が変則的になっています。	
受講料	JSE会員:16,500円(税込) JSE非会員:33,000円(税込) ※資料代含む。	
レベル	中級	
対 象	実務経験1～3年程度、基本的な用語が分かっていること,もしくは「船荷証券の基礎」を受講済みであることが望ましい。	
講 師	(弁)東町法律事務所 弁護士・英国(イングランド及びウェールズ)弁護士 山下 和哉 氏	
概 要	船荷証券は、運送人と船荷証券所持人との関係を規律する重要な書類です。 船荷証券の約款内容、運送人の義務・責任、荷送人又は船荷証券所持人の義務・責任などを理解して適切に行動することが国際取引や外航海運の分野では大切ですが、これらは短期間で簡単に身につくものではないので、機会を見つけて研修を重ねることが非常に有益です。 本講座では、海運実務研修講座「船荷証券の基礎(全1日)」でもご説明した基礎的な知識をベースに、応用編として、船荷証券約款、運送人の義務・責任及び荷主の義務・責任に関する裁判例や実例を解説し、実務に役立てるように理解を深めることを目指します。	
内 容	0	B/Lとは
	1	運送人の義務・責任 (1)国際海上物品運送法の概要 (2)FIOST条項 (3)不知約款 (4)無故障B/Lと錆約款 (5)運送人の不法行為責任等(ヒマラヤ条項)
	2	B/Lと航海傭船契約 (1)B/LとV/Cとの関係 (2)V/CのB/Lへの摂取
	3	3. 重重要なB/L約款 (1)裁判管轄・仲裁条項 (Jurisdiction/Arbitration) (2)準拠法条項(Governing Law) (3)至上約款 (Clause Paramount) (4)運送人の特定(Demise条項) (5)Liberty条項 (6)共同海損条項 (General Average) (7)New Jason約款 (8)双方過失衝突約款(Both-to-blame Collision)
	4	荷主の義務・責任 (1)運送賃支払義務 (2)運送に適した状態の貨物を引き渡す義務 (3)貨物に関する正確な情報を提供する義務(危険物通知義務) (4)運送品の受取義務
	5	B/Lの代替手段 (1)保証渡し (2)サレンダーB/L (3)Sea Waybill (4)電子B/L

海運実務研修講座 25、27 「不定期船実務の基礎知識(陸上編)」 改

不定期船ビジネスに必要な知識を体系的に学ぶ ★★

今年度予定	<A日程>11月13日、20日(毎週金曜日) 13:30～17:00(途中休憩有) <B日程>12月11日、18日(毎週金曜日) 13:30～17:00(途中休憩有) 講師:元川崎汽船㈱ 常務執行役員 新井 真 氏 受講料改定:JSE会員:30,118円(税込) JSE非会員:56,518円(税込) ※資料代含む。

昨年度実施状況

2026年度 講師交代

日 時	2025年10月16日、23日、30日(毎週水曜日) 13:30～17:00(途中休憩有) 2025年11月13日、20日、27日(毎週木曜日) 13:30～17:00(途中休憩有)	
受講料	JSE会員:43,318円(税込) JSE非会員:82,918円(税込) ※資料代等を含む。参考書籍無料贈呈。	
レベル	初・中級	
対 象	不定期船に携わる営業・オペレーター、断片的な知識を整理したい方	
講 師	元NSユナイテッド海運㈱ 常務執行役員 横溝 豊彦 氏	
	1976年新和海運入社、ロンドン駐在を経て、総務部法規保険課長、同人事課長、企画グループリーダー、総務グループリーダーを務めた後、2009年から執行役員となる。2010年に新和海運は日鉄海運との合併によりNSユナイテッド海運となったのちは常務執行役員、取締役・常務執行役員、特別顧問、シニアアドバイザーを歴任し、2018年に退任。	
概 要	不定期船営業の経験豊かな船社経営者に実務のポイントをお話していただきます。 なお、本講座は不定期船に携わり始めた方、また断片的な知識はあるものの、船舶建造から処分までの全体像について理解を深めたい方などを対象にしています。	
内 容	1	1. 海運の歴史 1)世界の海運の歴史 2)わが国の近代海運の歴史 海と船の話いろいろ 世界の海上輸送量
		2. 船舶保有の基本的な考え方 1)Ownerと Owner-Operator 2)海運業における利益追求の考え方 3)船種・船型検討・・・荷主・傭船者の動向把握 4)船価(新造か中古船か)検討
	2	3. 本船コストの試算と収支管理 1)本船コスト試算 ― 資本費、船員費、金利 償却前利益と償却後利益 船店費 ― 船舶管理の重要性 収支管理(予算管理) 2)Operatorに傭船に出す場合 3)定期傭船契約書
		4. 船舶処分の基本的考え方 1)本船のCondition 2)中古船市場 (Ship Sales & Purchase Market) 3)対策 4)売船の実務
内 容	3	5. 海運営業 ―引合と運航、採算と実績 1)引合(Chartering)の基本的な考え方 A)手持ち戦力の把握 B)市況の判断 C)交渉相手の選択と環境判断 D)Offerの準備・心構え(Estimation作成) E)交渉 F)成約・契約書(Charter Party)作成 2)運航(Operation)の基本的な考え方 A)動静把握 B)積荷・積高・Stowage C)積揚港 D)航路・補油・気象海象 E)船長・代理店への指図 F)入出金 G)Laytime Calculation H)海難・戦争・訴訟対応 I)Arbitration(仲裁) J)EstimationとActual Resultとの比較
		6. 海運経営及びまとめ 2024年3月期海運会社の決算状況
参考資料	乾汽船発行「不定期船実務の基礎知識」(非売品)、日本海運集会所発行「KAIUN(海運)」6月号 日本海事広報協会発行「SHIPPING NOW 2024-2026」、別途、講座資料等を配布。	

海運実務研修講座 26 「P&I保険の基礎(全4回)」 航海の安心と安全を担保する保険講座 ★★	
今年度予定	12月2日、9日、16日、23日（毎週水曜日） 15:30～17:00

昨年度実施状況

日　時	2025年12月1日、8日、15日、22日（毎週月曜日） 15:30～17:00	
受講料	JSE会員：26,400円（税込） JSE非会員：52,800円（税込） ※資料代含む。	
レベル	初・中級	
対　象	実務経験1年目～。「新人社員研修(春/秋)」等の他の講座でP＆I保険に興味を持った方。より具体的に学習してみたい方。	
講　師	日本船主責任相互保険組合 損害調査第1部 シニアスペシャリスト　青山 和徳　氏	
	日本船主責任相互保険組合 契約第1部 内航チーム チームリーダー　一戸　康佑　氏	
	日本船主責任相互保険組合 損害調査第2部 東京Crewチーム エグゼクティブ　根本尚子 氏	
概　要	Ｐ＆I保険とはProtection & Indemnity 保険の略称で、船舶の所有・運航に伴って生ずる船主責任を対象とする保険です。 港湾施設、養殖施設など第三者の財物に与えた損害、油濁損害、乗組員の死傷、積荷に与えた損害等、幅広い範囲の賠償責任をカバーするもので、船主・船舶運航者には欠かせません。 本講座では、Ｐ＆I保険の総論の後、船員の傷病、財物損害、油濁損害、貨物損害等、広範なＰ＆I保険のてん補についてわかりやすく解説します。	
内　容	1	P&I保険の概要 P&I保険の特徴、保険契約、てん補の範囲
	2	船員クレーム、財物損害 船員クレームのてん補範囲・補償の例、財物損害の事故対応、船主責任制限制度
	3	油濁損害 油濁補償の法制度とその歴史、事故対応
	4	貨物損害 主な貨物クレーム、国際条約の比較、クレームの処理

海運実務研修講座 29 「内航海運概論(全1日)」 日本の産業と国民生活を支える輸送システム ★	
今年度予定	1月頃

昨年度実施状況

日　時	2026年1月27日（火曜日） 13:30～16:45（途中休憩有）	
受講料	JSE会員：13,200円（税込） JSE非会員：26,400円（税込） ※資料代含む。	
レベル	入門	
対　象	新入社員および新人、通年採用。若手社員。 自身の知識整理や再確認をしたい中堅の方、内航海運との関わりのある物流業界の新人など。	
講　師	流通科学大学　名誉教授　森　隆行　氏	
略　歴	1975年大阪市立大学商学部卒業、大阪商船三井船舶(現・商船三井)入社。1990年大阪支店輸出部輸出2課長。1992年広報室広報課長。1994年営業調査室課長。1996年AMT freight GmbH(出向)社長。2001年丸和運輸機関(出向)海外事業本部長。2004年商船三井営業調査室主任研究員。2006年商船三井退職、流通科学大学商学部教授。2021年流通科学大学名誉教授。2023年フィジカルインターネットセンター（JPIC）理事長。	
著　書	『海上物流を支える若者たち』（海文堂） 『水先案内人』（晃洋書房） 『第3版 現代物流の基礎』（同文舘） 『新訂 改訂・外航海運概論』(成山堂) 『物流とSDGs』（同文舘） 共著『モーダルシフトと内航海運』（海文堂） 『e-shipping 外航海運業務の電子化』（海文堂） 『内航海運』(晃洋書房) 『コールドチェーン』（晃洋書房）ほか	
概　要	内航海運は、国内物流の約4割を担い、鉄鋼、石油、セメントなど産業基礎資材の約8割の輸送を担っています。 また、日本の産業や私たちの生活を支える物流インフラとしてのほか、自然災害対策、国民・国家の安全保障という役割も果たしています。 日本経済が一定規模を維持していく上でも重要な未来ある産業です。 本講座では、外航海運と比較し内航海運の特徴を確認した上で、内航海運がより活力ある産業となるため、船員不足や働き方改革、環境問題などをはじめとした諸課題への取り組み、モーダルシフトの輸送需要等をふまえた、今後のビジネス展開について考察します。	
内　容	前半	内航海運の現状と役割 1.内航船の役割 2.内航海運業界の現状 3.内航海運と外航海運 4.内航海運の市場構造 5.船舶管理（オーナー、オペレーター、船舶管理会社）
	後半	内航海運の抱える課題と課題解消への取り組み 6.働き方改革と内航海運 7.船員問題と自動運航船 8.内航海運と環境問題 (1)内航海運の環境対応の必要性 (2)環境問題への取組みの2面性 9.内航海運とモーダルシフト 10.離島航路事情 11.フィジカルインターネットと海運 12.内航海運とDX 13.フィリピン船員教育事情 14.まとめ 参考（カボタージュ） 《附》フェリー業界の現状 冊子「内航海運・フェリー業界の現状と課題」

海運実務研修講座 30 「洋上風力関連船に関する特殊傭船契約の基礎(全3回)」

日本の洋上風力プロジェクトに対応するため、日本法の視点からBIMCOの特殊傭船契約の基本構造と洋上風力特有の留意点を学ぶ ★★★

今年度予定	1月頃 受講料改定:JSE会員:19,800円(税込) JSE非会員:39,600円(税込) ※資料代含む。

昨年度実施状況

日 時	2025年9月11日、18日、25日(毎週木曜日) 15:30～17:00
受講料	JSE会員:16,500円(税込) JSE非会員:33,000円(税込) ※資料代含む。
レベル	中級
対 象	洋上風力プロジェクトに関与している方、将来関与希望の方、特殊な傭船契約の基礎を確認したい方など
講 師	戸田総合法律事務所 弁護士 青木 理生 氏
略 歴	2003年一橋大学社会学部卒業、2005年同大学法学部卒業、 2006～2007年東京大学大学院法学政治学研究科在籍、 2009年戸田総合法律事務所入所。 2015年英国サウサンプトン大学海事法ショートコース修了。
	典型的な海事事案はもちろん、洋上風力プロジェクトの諸問題や脱炭素対策問題など最先端の海事関係事案を積極的に手掛ける。 学術団体・業界紙・大手船会社・大手損保・大手建設会社・発電事業者など幅広い企業からの依頼で各種講演等を実施。 講演・論文等の一覧はこちら → http://www.todalaw.co.jp/lawyers/index.html 2024年、世界洋上風力フォーラムのアジア洋上風力サミットでのパネルディスカッションにパネリストの一人として招聘、登壇。 2025年5月に東京で開催された万国海法会での浮体式再エネ施設に関するワークショップにおいて発表者の一人として登壇。 日本海法会Mobile Offshore Renewables Units委員会委員、(一社)日本風力発電協会正会員、(一社)再生可能エネルギー長期安定電源推進協会A会員(洋上風力委員会・航行安全確保テーマ検討リード役)、(一社)エンジニアリング協会本部賛助会員。
概 要	2050年の脱炭素社会を目指す日本のエネルギー安全保障としても、昨今の国際情勢の観点からも、洋上風力産業は急成長を遂げております。世界的には逆風が吹いている面もありますが、日本に関しては今年6月に再エネ海域利用法の改正によって対象海域がEEZまで広がるなど、変わらず今後のさらなる発展・拡大が確実視される分野と言えます。 また、洋上風力は調査・調達・建設・操業管理・撤去の各段階で多種多様な船舶が関与するため日本の海運業界を支える事業の一つとして大いに期待されています。 本講座では、日本ではまだ黎明期にある洋上風力プロジェクトの全体像や現状を把握するとともに、関連する特殊傭船契約の基本及び留意点につき、国内案件で一般的に準拠法とされている日本法の視点から、複数の大規模プロジェクトの関与実績を有する海事弁護士がポイント解説します。
内 容	1.洋上風力プロジェクトの全体像と基本的な契約構造の解説 2. 特殊な定期用船契約書式の基礎と留意点の解説 (SUPPLYTIME, WINDTIME, ASVTIMEなど) 3.特殊な航海用船契約書式の基礎と留意点の解説 (Heavyliftvoy, Heavycon, Projectconなど) (4.その他関連契約の基礎)

海運実務研修講座 31 「内航傭船契約（全1日）」

内航船における契約書式を改めて学び、理解を深める ★★

今年度予定	2月頃

昨年度実施状況

日　時	2026年2月18日（水曜日）13:30～17:00（途中休憩有）	
受講料	JSE会員：13,200円（税込）　JSE非会員：26,400円（税込）　※資料代含む。	
レベル	初・中級	
対　象	実務経験1年目～	
講　師	田川総合法律事務所　弁護士　黒田　直行　氏	
概　要	実務上、内航船舶の傭船契約について、契約書を見たことや取り扱ったことがあっても、その意味合いについて深く理解する機会はあまりないという方も多いのではないでしょうか。しかし、リスク予測やトラブル発生時の対応、また契約内容見直しの際にも、契約書の内容とデフォルト・ルールを把握しておくことが有用です。 内航傭船契約では多くの場合、日本海運集会所の内航傭船契約各書式が用いられています。また、法律としては主に商法の規定が適用されます。 そこで本講座では、商法のルールも踏まえながら、各種傭船契約の一般的な内容を確認した上で、費用負担やトラブル発生時の責任の所在などの各契約の相違点や、海運集会所の契約書式にどのような特色があるかといった点を中心に、法律上のポイントについて解説いたします。 ※なお本講座では、裸傭船契約、定期傭船契約、航海傭船契約に加え、厳密には傭船契約には分類されない運航委託契約も取り上げることとします。	
内　容	1	各傭船契約の概要 ・裸傭船契約 ・定期傭船契約 ・航海傭船契約 ・傭船契約類似の契約（運航委託契約）
	2	各傭船契約の相違点 ・費用負担 ・対価 ・契約当事者間の責任 ・対外的責任 ・保険
	3	海運集会書契約書式の特色 ・裸傭船契約 ・定期傭船契約 ・航海傭船契約 ・運航委託契約
	4	その他の規律（内航海運業法）

海運実務研修講座 32 「船舶保険実務(中級)(全1日)」 船舶保険を通じ事故時の実践的な対応力を強化する ★★★	
今年度予定	2月頃

昨年度実施状況

日　時	2026年2月26日（木曜日） 13:30～17:00（途中休憩有）	
受講料	JSE会員：13,200円（税込） JSE非会員：26,400（税込） ※資料代含む。	
レベル	中級	
対　象	実務経験1年目～ 基本的な用語が分かっていること、もしくは「船舶保険入門」を受講済みであることが望ましい。	
講　師	三井住友海上火災保険　グローバル損害サポート部船舶グループ課長　杉山　誠　氏	
概　要	本講座では、船舶衝突事故例を設定し、事故の際に発生する実務上の問題解決に向けて、事故対応フローの中で、保険会社がどの様な実務対応を行っているのかを把握することで船舶の所有者・運航者として必要となる対応を具体的なイメージを持って理解できるよう解説します。 このため船舶保険の理論面より実務面に重点をおいていますが、船舶保険のパンフレットを通読したことがあるなど基礎的な知識があれば理解できる内容となっています。 船会社の法務・保険にかかわる方はもちろん、海・工務担当の方や財務にかかわる方にもお勧めいたします。	
内　容	海難事故発生時の対応－主に衝突事故を例とした解説－	
	1	海難事故について
	2	衝突事故対応の基本フローと初動対応
	3	衝突事故後の検討事項 ・損害額および過失割合の評価 ・準拠法、裁判管轄地の検討 ・差し押さえ／保証状の交換
	4	衝突事故の解決交渉
	5	海難救助 ・救助ケースにおける救助契約の選択について

海運実務研修講座 33 「船舶売買の実務(全3回)」 トラブルを防ぐ船舶売買の注意点 ★★	
今年度予定	3月頃

昨年度実施状況

日　時	2026年3月3日、10日、17日（毎週火曜日） 15:30～17:00	
受講料	JSE会員：19,800円（税込） JSE非会員：39,600円（税込） ※資料代含む。	
レベル	初・中級（上級の方は質問をお願いします。）	
対　象	実務経験1年以上（基本的な専門用語が分かる方）	
講　師	ティエッチマリンアンドエンタープライゼス㈱ 代表取締役 吉丸 昇 氏	
略　歴	1957年中央大学法学部卒業。 海運・造船関係の専門紙記者を経て1970年船舶売買のケーブリングブローカーに転進し、1989年より現職。	
著　書	『船舶売買契約書の解説（改訂版）』（成山堂）	
概　要	船舶売買の商談の開始から売買の完結まで、実務上の重要ポイントと過去のトラブル事例、講師の体験談を踏まえて説明します。 まずは、船舶売買契約書の全体像の理解を深め、そして講義内容に関する質疑応答に続き、船舶売買の実務上の主な問題点や新しい書式について、概略を解説いたします。	
内　容	1	商談の開始から成立（手付金の確認）まで および船舶売買契約書の書式全般について （主な要旨） ・商談開始に関するAuthority とCommitment について ・見船を省略し検査記録の閲覧と積荷経歴や写真判定、見船専門社の報告書でオッファー ・契約成立の解釈に二つの流れ（NIPPONSALE 1999とSALEFORM 2012） ・国際取引では認知されない地方独特の諸慣行 ・手付金の受領確認で諸手続きを開始 ・NIPPONSALE 1999、SALEFORM 2012、SSF 2011、SHIPSALE 22、PROTOTYPE等について
	2	売買契約書のプレアンブルと第1条から第15条までの解説 および追加条項についての説明 （主な要旨） ・プレアンブル作成の意義と注意点 ・トラブルの少ない条文作成のポイント（第１条から第１５条） ・追加条項には、取引の実態に応じてその内容を条文に反映させる
	3	船舶売買での実務上の主な問題点および質疑応答 （主な要旨） ・善良な買主の見分け方 ・契約の成立に二つの解釈 ・AS ISと船級維持証書との関係 ・売買代金授受の問題点 ・本船の引渡準備完了の意義と効力 ・本船引渡後の船主責任 ・実務上の損害賠償請求の範囲

海運実務研修講座 34 「Laytimeの基礎知識(ドライバルク)(全1日)」 Laytimeにおける原則を判例で述べられた文言をもとに理解する ★★★	
今年度予定	3月頃

昨年度実施状況

日　時	2026年3月13日(金曜日)　13:30～17:00(途中休憩有)
受講料	JSE会員:13,200円(税込)　JSE非会員:26,400円(税込)　※資料代含む。
レベル	中級
対　象	基本的な用語が分かっている方で、ドライバルクにおけるLaytimeの主要な基本原則について理解を深めた
講　師	日本海運集会所 海事知見事業グループ長　青戸 照太郎
概　要	英法におけるLaytimeの基本原則は、判例をとおして形成されてきました。 そこで本講座では、判例の原文からLaytimeにおける主要な基本原則を理解し、相手方と意見の相違が生じた際には、これを提示することで、速やかな処理ができるようになることを目指します。 (「タンカー航海傭船契約(全3回)」は、P.5参照)
内　容	1. Laytimeに関する前提知識 2. Laytimeの開始 3. Laytimeのカウント 4. その他

Memo

※各講座の日程や詳細については、関係各位に【JSEメール通信】にて配信しています。
毎月16日前後に、翌月に開催する全ての講座・セミナーの概要をお知らせし、
また、各講座の開催日の3週間前に申込みフォームを添えて詳細をご案内しています。
配信をご希望の方は、project@jseinc.org 宛てにメールにて以下をお送りください。

1. 会社・法人名
2. 部署名
3. 役職名
4. 氏名（ふりがな）
5. メールアドレス

（注）個人アドレスは上記1～5を、グループアドレスは1，2及び5をご記載ください。
複数のアドレスへの配信も承ります。

（お問い合わせ先）

一般社団法人 日本海運集会所　海事知見事業グループ（セミナー）

〒112-0002　東京都文京区小石川2-22-2　和順ビル3階

E-mail　project@jseinc.org　　TEL　03-5802-8367

The Japan Shipping Exchange, Inc.

www.jseinc.org